

令和3年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 実施施策：図書館サービスの充実		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊 )	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	124,500人・353,000冊	今年度の実績値 114,991人、319,905冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3 (上期)	R3 (通期)
来館者数(人)		153,179	148,987	148,260	137,199	7,622	55,296	114,991
講座開催回数(回)		36	127	136	118	2	29	125
講座参加者数(人)		1,071	2,210	2,219	1,451	185	351	1,099
貸出冊数		259,651	366,396	374,423	352,655	41,293	155,484	319,905

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

区分		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	3カ年平均		
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	17	616	75	236	
		指定管理委託料	34,188	34,464	35,508	34,720	
		①合計	34,205	35,080	35,583	34,956	
	支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
			清掃等委託料	0	0	0	0
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	150	249	0	133
		運営	人件費	33,509	32,112	34,268	33,296
事業等経費			1,517	1,445	1,604	1,522	
その他	0	0	0	0			
指定管理納付金	0	0	0	0			
②合計	35,176	33,806	35,872	34,951			
純収支 (①-②)		△ 971	1,274	△ 289	5		

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※		H28	H29	H30	R元	R2	R3
<単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	38,862	39,669	40,154	41,188	41,464	41,108
	(内、指定管理委託料)	31,862	32,669	33,154	34,188	34,464	35,508
	実質経費 (歳出-歳入)	38,862	39,669	40,154	41,188	41,464	41,108

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果			
		指定管理者自己評価		施設担当課評価	
		評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況 館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。 保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。 備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。 修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。 環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B	利用者の安全性と利便性、快適性などを考慮し、ラストホールとも連携しながら対応している。大規模改修により更新された設備や内装を持続的に清潔に保てるよう維持管理に努め、初期不良などについても随時対応している。	B	仕様書に基づき、適切に実施されている。
		B			
		B			
		B			
		B			
職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に必要な資格と経験、実績を積んだ職員を配置し、研修にも積極的に参加している。ラストホールと連携して外部講師による接遇研修とAEDを使つての救命救急講習なども実施した。	B	仕様書に基づき、職員を適切に配置している。
	職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
	防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	財団全体の連絡網を整備し、ラストホール全館で連携して定期的に避難訓練を行っている。	B	仕様書に基づき適正に連絡体制を整えている。
	避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等 サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。 利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。 苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。 特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A	外国語絵本コーナーの新設や、一般書と児童書のゾーニング等、本に親しめる環境を整備し、細目な展示替えなどサービス向上に努めている。利用者からのご意見ご要望については関係部局と協議連携し迅速に対応した。	A	利用者の声をもとに、サービス向上や利用者増に向けて取り組んでいる。
		B			
		B			
		B			
事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	新型コロナウイルスのため中止や変更を余儀なくされたが、書籍紹介展示数の増加と館内のみならず、ラストホールや市内他施設での事業と連携し、事業を実施した。	B	コロナウイルス感染症対策を取りながら対応している。
	施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	伊丹市立図書館セキュリティ運用基準を遵守。財団の広報紙や館内掲示、ブログでのイベント情報発信などを積極的に行っている。	B	仕様書に基づき、適正に業務が実施されている。また、個人情報の管理も厳正に行っている。
	利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	適正に経理処理を行っている。
	経理処理は、適切に行っているか。	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価
B	令和2年度の大規模改修工事を終え、4月からの開館となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数及び貸出冊数は目標に届かなかった。展示事業など情報発信を積極的に行っており、今後もサービス向上に取り組みながら、利用者ニーズを把握し、効率的かつ効果的な管理運営に努めていただきたい。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年12月1日～令和4年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用されての満足度について →大変満足(40%)、満足(56%)	コロナ対策による各種利用制限などご不便をおかけしますが、感染症対策に努めつつ新鮮で充実した図書資料、丁寧な接遇、時節やニーズに合わせた展示や事業などを心掛け、今後も利用者の更なる満足度の向上、親しみやすい図書館を目指してまいります。
回答者数	職員の接遇態度について →たいへん良い(50%)、良い(40%)	
52	清掃が行き届いているかについて →はい(100%)、いいえ(0%)	

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置